

# WEBマーケティング AIの未来「技術編」について



# Webマーケティングとは？

Webマーケティングとは、Web上にあるサイトやサービスなどを使うマーケティング活動です。  
Webマーケティングでは、ユーザーを呼び込むための広告配信やコンテンツ制作を実施します。  
ユーザーが商品やサービスに対して興味を持ち、購入してもらうことが、Webマーケティングの目的です。

# マーケティングAIとは何ですか？

MA（マーケティングオートメーション）とは、顧客開拓におけるマーケティング活動を可視化・自動化するツール。見込み顧客のデータを一元管理し、業務の効率性を高めています。

そんなMAの領域にAIの力が加わると、「見込み顧客のデータの分析」、「分析結果をもとにした集客施策提案」が可能になります。

## マーケティングにAIを活用するメリットは？

マーケティングにAIを活用する代表的なメリットが、同業務に欠かせない分析・予測といった業務を大幅に効率化できることです。

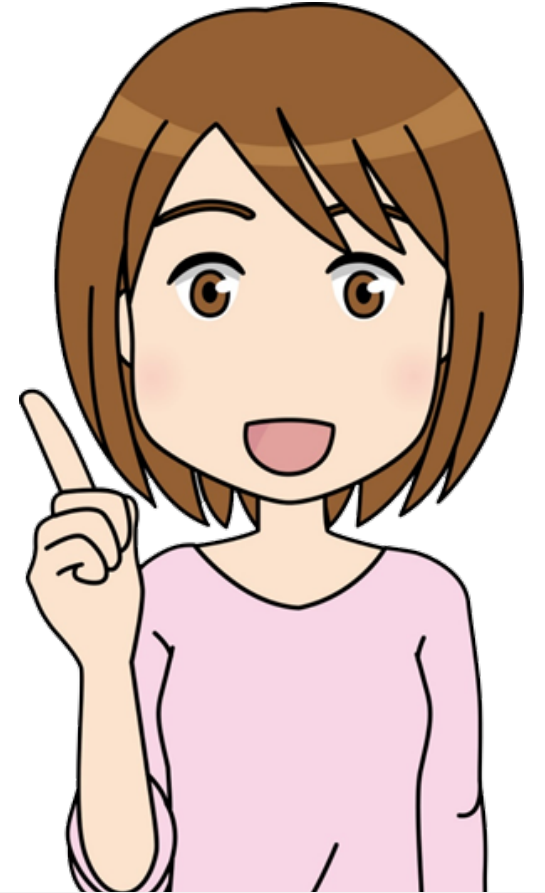
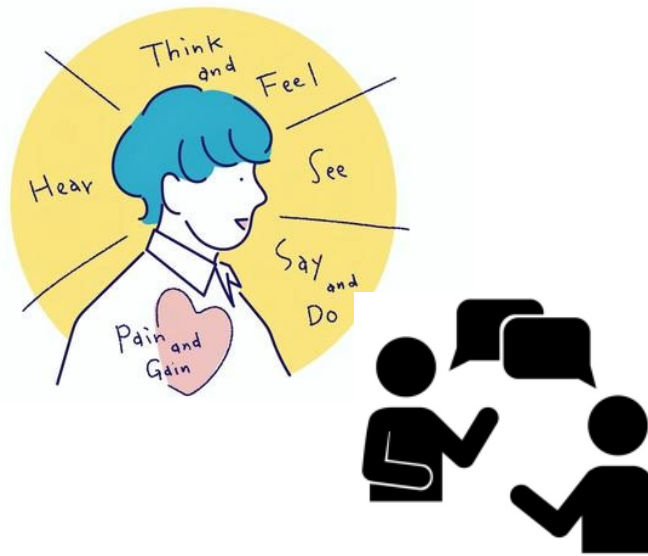
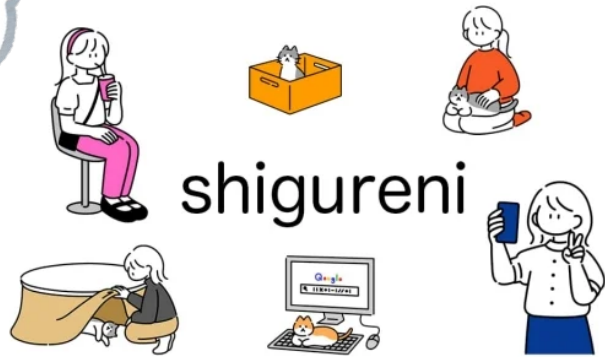
AIは大量の情報を識別する識別系という機能や、情報をもとに思考を行い予測・判断を行う予測系という機能が備わっており、人に代わって処理や作業を行うことが可能です。



**AIの技術...**

# AIの使い方にアイデアを

例えば、印刷技術だけで言うと実は20年以上前にパーソナライズは可能になっていました。ただ、その使い方が「文章に個人名を入れる」「ポイント残高を個別に記載する」レベルに留まっていた期間が長いように思います。一方で、最近ようやく表現をパーソナライズした好事例が出始めています。



※パーソナライズ

パーソナライズとは、顧客一人ひとりに最適な形で情報を提供すること、またはその手法やしぐみを指します。

マーケティングにおいては、顧客の属性や興味、趣味嗜好、行動履歴などに基づいて、最適な情報やサービスを提供することを意味します。

# 「人の心を動かす力」が必要

パーソナライズされたものを目にしたとき、消費者は自分の情報がどこから取られているのか、どこまで取られているのかが気になってしまって、不安になる。今後パーソナルデータをどう扱っていくのかが課題とされています。

いきなり「〇〇様へ」と自分の名前が入ったDMを見て、送り手の企業から名前と呼ばれるような関係ではないと感じた消費者からクレームが出たんです。逆に、取引関係のある企業から送られるDMであれば、名前が入っていないと冷淡に感じることもある。つまり、情報の送り手と受け手の距離感を測っておく必要があるのです。

## テクノロジーとクリエイティブの共存が鍵

コピーライターが複数のバリエーションのコピーを書いて、それぞれをテクノロジーで分析してターゲットごとに振り分けてチューニングしたら、いいクリエイティブを効率的に活用できる。

AIの得意分野は、そういったチューニングや過去の事例と照らし合わせて何かを予測すること。全く事例のない部分は、まだAIにとっては難しい領域なので、クリエイターにはその部分を担ってほしい。クリエイターとAIは、お互いの価値を高め合えるような存在になるはずですよ。

# 業界の動き

# いくつかのAIを活用した事例のご紹介

国内では、電通が2020年に「データドリブン・クリエイティブ・センター」を発足させました。

そんな電通を筆頭に、広告クリエイティブ制作でのAIの活用が進んでいます。AIコピーライターやバナー自動生成ツール、クリエイター向けのAIツールなど複数の製品が発表され、すでに実用の段階に入っています。

## ・電通による広告クリエイティブ制作ツール（コピーやバナーの自動生成など）

### バナー広告の自動生成「ADVANCED CREATIVE MAKER（アドバンスクリエイティブメーカー）」

「ADVANCED CREATIVE MAKER (ACM)」は、バナー広告の配信候補を大量に自動生成するクリエイティブ制作支援ツールです。1枚のバナー広告を1秒以内で生成でき、1,000枚以上のバナー広告の候補を生成して、そのなかから特に優れた10~20案を利用することが想定されています。

※「Direct AICO」

「Direct AICO」はバナー広告やリスティング広告など、デジタル領域での広告コピーをAIが生成するシステムです。

#### 1.オリエン情報の入力

業種やキーワード、訴求軸、商品情報、ロゴデータなどのオリエン情報を入力する

#### 2.Direct AICOとの連携、コピー生成

コピーを上述のDirect AICOが生成する

#### 3.候補バナーの大量生成

自動生成システムがバナーのデザインを大量に組み上げる

#### 4.AIによるCTR予測、選別

CTR予測と、搭載される「AIアートディレクター」による評価を行い、候補を絞り込む

#### 5.完成

最終的に人間のクリエイターが確認し、最も優れた案を採用する

ACMの利用により、速く、大量に作れるようになります。

また、必ずしもクリエイターが関与する必要がない工程をACMが支援することで、クリエイターはよりアイデアや表現に注力できるようになり、クリエイターの働き方改善にも寄与できるとされています。



## ・サイバーエージェントの広告効果予測AI「極予測AI」

サイバーエージェント社が提供する極予測AI(キワミヨソクエーアイ)は、広告配信効果を事前に予測する効果予測AIです。AIを用いて広告クリエイティブを制作し、制作費は広告効果が出たときのみの成功報酬とされています。

配信中の既存クリエイティブで最も効果が出ているものと、新規クリエイティブの効果予測値を競わせ、効果予測値が既存1位を上回ったもののみが広告主に納品されます。

極予測AIでは動画・静止画ともに制作できます。

2022年9月に追加された機能により、動画と静止画を横断した1つの予測モデルが適用されるようになりました。

それにより、動画・静止画を問わず、効果予測値が既存1位のクリエイティブを上回る新規クリエイティブが提案できるようになっています。

## ・感性価値分析・訴求力向上を実現する「感性AI」

感性AI株式会社は、感性を定量化する技術「感性評価AI」により、AIでイメージを分析するツール「感性AIアナリティクス」、AIでアイデアを創造するツール「感性AIブレスト」の、2つのマーケティングソリューションを提供しています。

### 感性評価AI

感性評価AIは、電気通信大学における長年の研究に裏付けされた技術です。画像やモノの印象を、人間が五感で感じたことを伝える際に使われるテキストやオノマトペ(擬音語・擬態語・擬声語など)を手がかりに定量的に表現します。

### 感性AIアナリティクス

消費者データを学習したAIが、ネーミングの語感やキャッチコピーの印象、パッケージデザインの色彩印象を分析・可視化します。マーケティングリサーチなどのアンケート調査を行わなくても、ネーミングテストやキャッチコピーテスト、パッケージデザインのテストが実施できます。

### 感性AIブレスト

消費者データを学習したAIが、ネーミングやキャッチコピー、パッケージデザインのアイデアを大量に提案します。ターゲットの性別と年代、パーソナリティを入力すれば、最適なアイデアの提案が可能です。

## ・AIが画像・動画の編集加工・素材生成を行う「cre8tiveAI(クリエイティブAI)」

株式会社ラディウス・ファイブが提供するcre8tiveAI(クリエイティブAI)はAIによる画像・動画の編集加工、および素材生成を行うツールです。以下のようなサービスが提供されています。

### 1.Photo Refiner(高画質化AI)

写真やイラストなどの画像を高画質化する

### 2.Face Refiner(顔高画質化AI)

ポートレートなどの顔に特化して品質改善をする

### 3.彩ちゃん(顔イラストメーカーAI)

100万種類以上のオリジナルの顔イラストを超高速で制作する

### 4.彩ちゃん+(全身イラスト制作)

全身イラストを制作する

### 5.Enpainter(絵画アーティスト化AI)

自分の写真を、ゴッホやピカソ、雪舟、モリゾ、キルヒナーなど世界的なアーティスト風の絵画画像に変換する

### 6.Moving Photo Maker(写真動画化AI)

1枚の写真やイラストから、14種類の動画を生成する

こんなイメージです。

**AdobeのAIについて**

# Firefly (ファイアフライ) は、Adobeが開発した画像生成AIです。

簡単な文章をもとに画像や装飾文字を生成します。

アドビ (Adobe) は、デザイナーの作品編集を支援する生成AIモデル群「ファイアフライ (Firefly)」を提供しています。生成AIは、テキストや入力情報からコンテンツを作り出すことができるテクノロジーです。



このFireflyの技術がそれぞれのアプリケーションに落とし込まれ始めています。



## Illustrator (イラストレーター)

IllustratorのAI機能には、次のようなものがあります。

テキストからベクター生成  
簡単なテキストプロンプトから編集可能なベクターグラフィックを生成します。  
拡大、縮小、再配色、グラフィックの個々の部分の編集などが可能です。



## Photoshop (フォトショップ)

PhotoshopのAI機能には、次のようなものがあります。

- ・生成 AI: 画像の内容を壊すことなく追加・拡張・置き換え・削除などを行えます。
- ・ジェネレーティブ塗りつぶし: 画像の特徴を解析し、自動的に画像の編集や修正を行うことができます。
- ・被写体を選択: 少ない作業で写真の主要な要素を分離できます。
- ・背景の追加: 写真に好みの背景を追加できます。



## Lightroom (ライトルーム)

Adobe Lightroomは、Adobeが提供する有料の写真編集ソフトです。  
写真の編集管理に特化しており、カメラマンが行う一連のワークフローに沿った機能が搭載されています。

LightroomのAI機能には、次のようなものがあります。

ノイズ除去  
撮影が難しい照明条件下で撮影した写真からデジタルノイズを除去します。  
光量の少ない高感度撮影や、ビーチでの夕日や夜景、キャンドルライトでの誕生日パーティーなどの撮影時に便利です。



## Premiere Pro (プレミアプロ)

Adobe Premiere Proは、動画の編集や加工、映像制作ができる動画編集ソフトです。YouTubeやInstagramなどのソーシャルメディアの動画作成から、ハリウッド映画の制作まで幅広く使用されています。

**Premiere ProのAI機能には、次のようなものがあります。**

文字起こし

読み込んだ動画の音声を AI が自動認識してテキスト化します。



## After Effects (アフターエフェクト)

Adobe After Effectsは、Adobe社が提供する映像のデジタル合成やモーション・グラフィックス、タイトル制作を目的としたソフトウェアです。

**After EffectsのAI機能には、次のようなものがあります。**

- ・コンテンツに応じた塗りつぶし: 動くものに対して AI が自然に塗りつぶします。
- ・スピーチを強調: AI を活用して音声の品質を向上させます。
- ・オーディオクリップの自動分類: オーディオクリップを自動で分類します。
- ・Depth Scanner: 自動深度推定のための人工知能ベースのプラグインです。



## Adobe Express (アドビエクスプレス)

Adobe Expressは、デザイナーでなくても魅力的なコンテンツを作れるデザインアプリです。Webブラウザですぐに使用でき、テンプレートが豊富に用意されています。また、Adobe StockやAdobe Fontsと連携しており、直感的なUIでわかりやすいです。

**Adobe ExpressのAI機能には、次のようなものがあります。**

- ・テキストから画像の生成
- ・テキスト効果の生成
- ・静止画像からビデオ、3D、ブラシ、ベクター、テクスチャなどのクリエイティブな素材の編集および生成



# まとめ

---

## Webデザイナー+Webマーケティング AIはスグそこにいます!

Adobeのアプリケーションも様々なシーンでAIを取り入れています。  
まずは使い慣れることが求められるでしょう。

遊んでください!!

たくさん使ってみることが重要となりますね!

